「NPO の資金調達バランス」

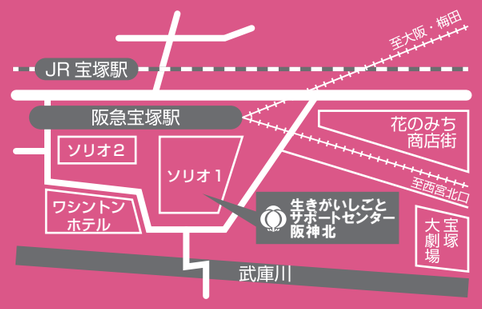
NPO の主な資金源としては①会費　②寄付　③事業収益　④補助･助成　⑤委託事業があげられます。助成金や受託事業など、変動の大きい外部資金に頼りすぎると、それが無くなった途端に、組織運営ができなくなる恐れがあります。安定した運営を行っていくためには、使途を自由に決めたりできる会費・寄付、そして事業収入など､複数の財源からバランスよく調達し､長期的･戦略的な資金計画を立てることが重要です。会費・寄付は、単にお金を集めるという行為だけではなく、団体のミッションや地域の課題を伝えるための行為として、将来的な支援にもつながるでしょう。「何のために寄付を募るか？」組織内で話し合い、共通認識を持っておく事が重要です。

「2013 年度を振り返って」

本年度は、地域のため社会のためにと考える２８の団体が巣立っていきました（２月末現在）。その形は地域や団体により様々ですが､本年度は､商工業者が連携しながら地域づくりを行っていく「商工業者連携型」､自分達の地域の資源を見つめなおして新たな力を発揮していこうという「地域資源発掘型」が多くみられました。但馬地域においては U ターンや I ターンの方が活動をスタートする「UI ターン型」もみられました。シニア世代の起業は 14 団体となり、経験と知識を地域や社会に活かしていこうと考え、実践するシニアの力を実感する一年となりました。このように様々な形で地域に潜在する力が発揮され、大きく花開いていくように、生きがいしごとサポートセンター阪神北では、来年度も継続的なバックアップをさせて頂きたいと考えております。

地域資源発掘型　商工業者連携型　シニア起業型　小規模子育て支援型　自治組織連携型　UI ターン型

生きがいしごとサポートセンター阪神北 センター長 若林 雄一



生きがいしごとサポートセンター阪神北
〒 665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2 - 1 - 1
ソリオ1 - 3F 宝塚NPOセンター内
TEL：0797-87-4350　FAX：0797-85-7799
E-mail：cdc@hnpo.net
URL：http://cdc.hnpo.net/
駐車場：ソリオ１…30分 200円

「生きがいしごとサポートセンター阪神北」は、兵庫県の「コミュニティ・ビジネス等生きがいしごと支援事業」の補助を受けて、(認定)宝塚NPOセンターが実施・運営しています。この事業は､「播磨西」「播磨東」「神戸西」「神戸東」「阪神南」の6拠点にて運営されています。

生きがいしごとサポートセンター阪神北

コミュニティ デザイン カフェ ニュース

CDCN 55

2014.3

特集

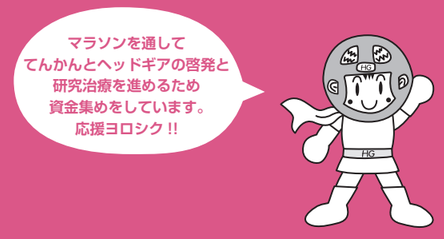
社会が変わる お金の使い方 稼ぎ方

走って、育てる、障がい者のための基金

社会福祉協議会の登録ボランティアグループ「きよくん基金を募る会」を設立して 10 年。きよくんは難病「ドラベ症候群」と闘っています。研究治療を進めるための資金集め、てんかんとヘッドギアの啓発が主な活動で､「ぽっかぽかコンサート」を開催してきました。短命だったドラベ症候群が生きられるようになり、歩行困難になっていくことがわかってからは筋力をつけようとマラソンを始め、思い出作りにマラソン大会にも出場しました。

障がい者の参加が少ないので、伴走ランナーとマッチングさせる NPO 法人ぽっかぽかランナーズを設立。それを期に 10 年で貯まった 300 万円を「ドラベ症候群」研究治療を進めている福岡大学に寄付することになりました。

先生から、「大切なお金をすべてもらうとバチが当たる。毎年 50 万円をきよくん基金助成として有意義に使ってはどうか」と提案いただきました。これからは、走ることで啓発すると同時に、より長く、より多く助成できるように、マラソン大会のチャリティーを得たいと思っています。



啓発キャラクター
ヘッドギアマン

NPO 法人 ぽっかぽかランナーズ 林 優子

非営利組織の「貢献」と「お金」

活動することによって集まってくるお金（労務提供、助成金等含む）は、その貢献に対する共感・社会の評価。その額は相手がその活動に対し価値ありとして拠出してくれる「評価の程度」と考えられます。そのお金から活動経費を除いた残り＝「利益」は、自分たちの活動が作り出した付加価値のことです。
その利益の積み上げ（内部留保）は、次の活動への資金となるだけでなく、将来の活動に伴うリスク（失敗や事故）の備えにもなります。従って非営利組織が持続的に活動していくためには、有用なる貢献活動を行い、それに対する評価（お金等）を得、更に有用なる貢献活動に挑戦していくという循環を作っていくことが必要です。
もともと社会的に評価されている経営者・企業家は世の中への貢献を使命として事業を行い成功してきました。非営利組織と営利組織の違いは、利益を役員や株主で分けないというだけなのです。

（認定）宝塚ＮＰＯセンター 副理事長 経営コンサルタント 遠座 俊明

アナタにもできる

NPOの資金調達（ファンドレイジング）

事業報告

ファンドレイジングを通じて、社会問題を解決するための活動や組織づくりについて考えましょう。

3月1日に「山科醍醐こどものひろば」理事長 村井 琢哉さんを講師に迎え「ＮＰＯの資金調達」講座を開催しました。
ファンドレイジングの方法、考え方は多岐にわたる事を前提に小さな団体でもできる寄付集めの方法から将来設計の話まで実例を交えて詳しく説明いただきました。
参加者の皆さまは、ミッションに自信があってもなかなか今までは寄付集めに踏み切れなかったようですが、講座終了後には寄付集めに積極的になるだけではなく、ミッションの見つめ直しにもなったようです。

NPO 会計講座

決算ってどうするの？

事業報告

人が動けば必ずお金も動きます。しかも、NPOが果たす社会的説明責任の中で、お金の扱いに対する責任はとても大切です

3月14日団体向けに「決算ってどうするの？」講座を開催しました。講師のOffice mate代表の増本有砂さんに「なぜ決算が必要か」から始まり、「具体的な仕訳」までを説明頂きました。目前に迫っている決算をどのようにすればよいのか不安だった参加者からは多くの質問が出ました。日頃のお金の動きをしっかり把握することが決算をするうえで大変重要であることを自覚されたのではないでしょうか。

アイデア次第で ドコデモ起業

過疎化 高齢化 少子化

事業報告

2月4日に島根県より「エコカレッジ」「てごねっと石見」の尾野 寛明さんを講師に迎え「アイデア次第でドコデモ起業」講座を養父市で開催しました。
経営には、損益計算だけでなく貸借対照をしっかり考える視点を持つべきという事を事例を挙げて説明いただきました。長期ビジョンで計画されている事例に参加者は、感心と同時に、自身の短期的視点を見直すきっかけになったとの感想を述べられてました。

新しくスタートした団体

2013年12月～2014年1月

ＮＰＯ法人 あっと但馬（美方郡新温泉町）	但馬地方の高齢者を紹介するウェブサイトの運営とそれに関わる事業および但馬地域内の高齢者団体の情報化支援を行い、地域振興と高齢者を活性化する
ＮＰＯ法人 ユーズ宝島 （宝塚市）	他の公益団体、関係諸機関と連携を図りつつ、使える廃棄物の再利用を実現してゴミの減量を図り、循環型社会を確立して地域住民の生活環境の向上を図るとともに、環境の保全に関する活動を実践して、国際社会の発展向上に協力する
知らせましょ・咲かせましょ （宝塚市）	白瀬川ブロック８集合住宅の住民に対する見守り活動を通じて、お互いに助け合い、支え合う組織を作り、最後まで安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成する
ＮＰＯ法人 日本ベトナム医療連携推進センター （宝塚市）	ベトナム国民に対して医療環境整備の改善や医療の充実に向けた医学的技術支援や提供により、医療従事者の医療に対する質の向上支援を行い、ベトナム医療従事者の患者を中心とした医療体制を改善する
一般社団法人 まちづくりスタジオ （宝塚市）	地域が自治力を発揮し、市民活動が活発化することを目的とし、地域ブランディング事業、施設・空間活用事業、パークマネジメント事業、特産品・観光開発事業、人材育成・研修・職業能力開発事業を行う

お仕事 一緒に 探しませんか

“お一人、お一人の気持ちに寄りそう”をモットーに個別のご相談を大切にしています。お気軽にご相談にお越し下さい。また、求人登録も随時受付けています。HP、FAX、お電話でお申し込み下さい。

求人団体名	職種	求人条件
NPO法人 シェアフィールド	学童保育支援員 （パート）	2名 **宝塚市児童育成事業/待機児童のための学童保育所** ・勤務地　各線「宝塚」駅近く ・時間給　800円 ・勤務時間　授業のある日/放課後～19:00の内2～8時間 授業のない日/8:30～19:00の内4～8時間 ・交通費　規定支給 ・備考　教員免許があれば望ましい
㈱ポピンズ 芦屋支社	身体・生活介助 外出・外泊同伴 （パート）	5名 **介護保険サービスに限らず幅広いサービスを提供** ・勤務地　阪神間(応相談) ・時間給　無資格1,200円～　有資格1,300円～ ・資格　ヘルパー2級以上あれば尚良し ・勤務時間　応相談 ・交通費　全額支給
㊥マルキ旅館	調理補助 （パート）	2名 **武田尾温泉にある都会から離れた静かな温泉宿** ・勤務地　西宮市塩瀬町 ・時間給　780～800円 ・資格/経験　多少調理場の経験があれば尚良し ・勤務時間　応相談 ・交通費　全額支給

※求人が既に充足している場合はご了承ください

働くことは、お金を稼ぐことなのでしょうか？

小林 浩昭
生きがいしごとサポートセンター阪神北
就職コーディネーター

「あなたは何のために働くの？」と問われてどう答えますか。私はこの3年間で1000人以上の求職者にお会いし、それぞれの人生観の一部に向き合ってきました。現役世代の働く目的は「お金のため＝生活のためと自己実現のため」に概ね集約できると思いますが、昨今の風潮としてやや「お金」に比重がかかっているように感じています。一方、求職者の3割を占めるシニア世代の答えはもっと多様です。年金額とか、大震災で経済的事情を抱えたなどの理由で、生活のために働く方も勿論いますが、とりたてて熱中する趣味もなく、世間との繋がりを持ちたいために働くという、いわゆる「キョウイク＝今日行く」場所を求める人たちが多くを占めてます。また、経験や能力を活かして自ら起業を考える方や何かしら社会のお役にたちたいとしてボランティア活動を始める方、単に健康のためと考えている人など多彩です。
　多様な働き方の実現のお手伝いをする『生きがい仕事サポートセンター事業』のターゲットがシニア層に向かうのは自然なことかもしれません。
さて、「2013年度の就労支援活動を振り返って」みました。就労マッチングにこぎつけた方は前年並みで順調に推移しています。シニア層はやや増えていますが求職者の方は全般に減少傾向です。世の景気動向を反映しているのであれば嬉しいことです。

就労マッチングの1コマより